

■リトアニア・スウェーデン：海底送電線の停止でリトアニアの電力価格上昇

2016年3月24日付報道によれば、スウェーデンとリトアニアを結ぶ海底送電線 NordBalt がスウェーデン側の技術的トラブルにより停止し、4月8日まで復旧しない見通しであることを明らかにした。スウェーデンからの電力融通が停止したことで、リトアニア国内の電気価格は約41%上昇したと報じられている。停止後はリトアニア北部の国際連系線を通じてラトビア、エストニア、フィンランドから電力供給を受けており、エストニアでは電力輸出量を2倍にしたという報道もある。停止前の時点で、リトアニアの電力供給の81%が他国からの輸入であり、そのうち最も多かったのがスウェーデンからであった。NordBalt は2015年12月に運開した全長453km、送電容量70万kWの海底送電線で、リトアニアとスカンジナビア半島を結ぶ。この送電線は電力需要の70~80%をEU加盟国からの輸入に頼る同国にとって生命線となっている。